

議会だより

12月定例会

■発行／八千代町議会

No.184

■編集／議会だより編集委員会

八千代グリーンブリッジなどの指定管理者の指定を議決

令和3年第4回定例会は、12月7日から14日までの8日間の日程で開催されました。この定例会では、町執行部から令和3年度補正予算をはじめ、条例改正など10議案が提案され、審議の結果、全ての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は12月13日と14日に行われ、5人の議員が登壇し、町の方針をただしました。

可決した議案内容

● 条例

◇国民健康保険条例の一部改正

茨城県の国民健康保険運営方針の改定に伴い、国民健康保険税の賦課方式を4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）から、2方式（所得割・均等割）へ変更するもの、子育て世代への負担軽減措置の導入をするものです。

・所得割：被保険者の前年度の総所得金額から基礎控除をした後の金額を基に計算されます。
・資産割：被保険者の当年度の固定資産額を基に計算されます。
・均等割：一人当たりの額を被保険者数に掛けて計算されます。
・平等割：一世帯につきいくつで計算されます。

◇国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金に係る内容を変更するものです。

● 予算

◇一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出をそれぞれ4億3698万6000円増額し、予算総額を80億5453万1000円とするものです。

歳出の主な内容は、財政調整基金積立金を含む総務管理費3億1125万円、町税過誤納還付金を含む徴税費105万8000円、障害者自立支援給付費を含む社会福祉費1億442万1000円、児童手当システム改修業務委託料を含む児童福祉費176万円、時間外・休日のワクチン会場への医療従事者派遣委託料を含む保健衛生費1857万円、森林病害虫対策業務委託料を含む農業費544万円を増額するものです。

◇一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出をそれぞれ1億5439万4000円減額し、予算総額を82億892万5000円とするものです。

歳出の主な内容は、子育て世帯への臨時特別給付金を含む児童福祉費を増額するものです。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ55万8000円増額し、予算総額2億3452万4000円とするものです。

歳出の内容は、人事異動に伴う職員人件費を増額するものです。

◇介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出をそれぞれ3891万6000円増額し、予算総額を18億8264万1000円とするものです。

歳出の内容は、保険給付費3240万円、諸支出金651万6000円を増額するものです。

◇農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ170万円増額し、予算総額を2億8883万4000円とするものです。

歳出の内容は、農業集落排水事業管理費を増額するものです。

12月定例会最終日の

本会議流会^{りゅうかい}について

12月定例会は7日に開会し、町執行部から提出された全ての議案を審議・議決し、また、一般質問も全て行われました。

しかし、14日最終日の本会議休憩中に、議長、副議長の辞職の件及び選出方法についての協議がまとまらず、議長及び6名の議員が帰宅し、その後、会議規則で定められた会議時間の午後5時までには再開されなかつたため、2件の審議事項を残して最終日の本会議が「流会^{りゅうかい}」となりました。この度、町民の皆さまにご心配をお掛けしたことに對しまして、心からお詫び申し上げます。

※「流会^{りゅうかい}」とは

出席人数が定足数に達しない場合や何らかの理由で会議の継続が不可能となり、閉会宣告などができずに会議時間が終了することをいいます。



● 人事

◇公平委員会委員の選任同意
現委員が令和3年12月31日をもって任期満了となるため、左記の方を再任することに同意しました。

宮本幸子さん(天王木番田)

◇監査委員の選任同意

現委員が令和3年12月14日をもって辞職するため、左記の方を選任することに同意しました。

宮本直志さん(天王木番田)



● その他

◇公の施設の指定管理者の指定
令和4年4月から令和9年3月までの5年間で、公の施設である八千代グリーンビレッジ・クラインガルテン八千代の2施設の指定管理者として、株式会社クリーン工房を指定するものです。



クラインガルテン



キャンプ場と憩遊館の露天風呂
(グリーンビレッジ内施設)



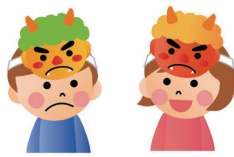
第3回臨時会

令和3年第3回臨時会は10月18日に開催されました。この臨時会では、補正予算1議案が提案され、原案のとおり可決しました。

● 予算

◇一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出をそれぞれ3596万5000円増額し、予算総額を76億1754万5000円とするものです。

歳出の内容は、商品券配布事業負担金を含む企画費867万5000円、営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金を含む商工振興費2060万円、小中学校へのCO2モニタリング購入費を含む事務局費45万円、中学校への電子黒板購入費を含む中学校費624万円を増額するものです。



請願・陳情は
どなたでも提出できます

「請願」「陳情」は、国や地方公共団体などの公共機関に対する要望を議会に訴える手段のことです。

「請願」と「陳情」では提出の方法や取り扱いが異なります。

○請願

その趣旨に賛同する議員の紹介が必要です。その内容を所管する常任委員会で審議します。

○陳情

議員の紹介は不要です。提出された陳情の写真を全議員に配布します。

※その他、詳しくは議会ホームページをご覧ください。



議会に関する情報はホームページでもご覧いただけます

八千代町議会では、ホームページを開設して議会に関する情報を発信しています。

- ・議員の紹介
- ・議会の仕組み
- ・議会の傍聴
- ・会議(定例会、臨時会)の審議結果、会議録
- ・議会だよりバックナンバー



議会のホームページはこちらから!

八千代町 議会



学校体育館の教育・防災の両立について



谷中 理矩 議員

が、小学校では未整備です。洪水時に浸水が想定される地域では校舎1階を避けるなどの条件もありますので、各校の状況に合わせた整備を検討していきます。

学校の体育館には、災害時に備え防災用の備品が搬入されていますが、器具庫や更衣室への収納も見られ、体育館本来の機能を阻害してしまっている部分もあります。

改めて各学校に防災用備品を保管するための倉庫を整備する計画について伺います。

総務部長 各学校には、避難所を開設するために必要な物資や食料、飲料水などを備蓄しています。置き場所には学校と協議をした上で、空き教室や体育館の空いたスペースを活用しています。

現在、町内に防災備蓄倉庫を4カ所、6棟設置しています。中学校には校舎内に防災備蓄倉庫が整備されています。

心の病は誰もがなり得るものです。職員のメンタルヘルス対策では、本人を孤立させず、周囲が手を差し伸べることが重要です。コーチングといわれる手法では、本人の自主性を引き出しつつ、メンタル面で効果があると言われています。町のコーチングに関する取り組みを伺います。

総務部長 職員のメンタルヘルス対策として、新規採用職員に対するメンタルヘルス研修や採用2年目の職員による新人フォロー研修、全職員に対するストレスチェックなどを実施しています。

耕作放棄地への対策について



増田 光利 議員

近年、町内で耕作放棄地と見られる水田や畑が増えていくのが見受けられます。農地の借り手の農家が高齢を理由に農業を畳む話を聞き、貸借を解消されると困るといいます。

また、コーチングについては、茨城県自治研修所等で開催されている研修に職員を派遣しています。

町長 職員間でコミュニケーションを取り合いながら職場を活性化させ、ひいては行政サービスの質の向上につながるよう努めていきます。



町が設置する防災備蓄倉庫

うな話も貸し手の人から聞きます。農地が耕作放棄地となってしまうと、その管理も問題になります。空き缶、ペットボトルなどの廃棄物が増え、不法投棄の温床にもなりかねません。放棄する期間が長くなると、木が生えるなど、農地として復元することが困難になる悪循環になってしまいます。町としての対策を伺います。

産業建設部長 荒廃農地の発生防止や解消に向け、町では「多面的機能支払交付金事業」を活用し、農地利用に関して地域ぐるみで話し合いや共同活動を行うことへの支援をしています。

農地の管理は所有者等が行うことが基本となってきました。不法投棄の対策として、町では日々、パトロールを行うとともに、各行政区の副区長に「産業廃棄物不法投棄監視員」を委嘱し、不法投棄への注意を払っていただいています。

成年後見制度は、認知症などで判断が十分にできない人に代わって、成年後見人が財産の管理や契約などを行う制度です。成年後見人の役割は今後ますます増えることが予想されます。成年後見人の養成に対する町の取り組みについて伺います。

保健福祉部長 町単独で成年後見人の養成を行うことは難しい部分もあるため、NPO法人等が開催する研修の受講料を補助する制度を設けていますが、令和元年度以降、利用者がいない状況です。

高齢者が増加する中、成年後見制度を必要とする人が増えていくと思われ、町としてもそれに対応する体制を整えていく考えです。



不法投棄を招かないよう対策を

「子ども議会」の継続について



関 眞幸 議員

町制施行50周年記念事業として「子ども議会」が行われ、18名の中学生が子ども議員として参加して一般質問を行いました。子どもたちの主権者意識を育む大変有意義な事業であったと感じています。今後、引き続き「子ども議会」を実施していく考えがあるか、お聞きします。

町長 今回、参加者が自分で質問のテーマを決め、発言する内容の作文をし、発表してもらいましたが、その過程での情報収集や議場で発言をする機会など、子ども議会を通じて得られることは多く、政治やまちづくりに関心を持つことは、大変貴重で有意義な取り組みであったと実感しています。しかし、質問の作成には通常の学校活動の

ほか、相当な時間と労力を要したものと聞いていることから、先生、生徒の負担を極力抑えるためにも、開催時期や規模、形式など、検討を要する部分もあります。そのようなことから、毎年の開催は難しいかと思いますが、定期的な開催を検討していきたいと考えています。

当町には技能実習生や外国人労働者が多く、以前にも外国人との共生について質問をしました。当町で生活する人たちが安心、安全に暮らしていくためには、町が民間事業者と連携することも必要になってくるのではないかと考えています。町の対策と取り組みについて伺います。

企画財政部長 町では、外国語表記によるホームページやチラシの配布を行い、ごみの分別の仕方などの身近な生活情報を発信しています。

ふるさと納税について



大久保 敏夫 議員

当町へのふるさと納税については、国内さまざまな地域から寄付がされていると聞いています。地域ごとの寄付の件数をお聞きします。また、寄付を受け入れた際には寄付

また、役場来庁者への対応のため、各窓口に自動音声翻訳機を配置しています。

町長 外国人の監理団体などと連携し、多文化共生について協議する場の設立を目指します。



11月に行われた「子ども議会」

者に対して返礼品を送付していますが、返礼品の状況についてお聞きします。

秘書公室長 令和2年度では、北海道から320件、東北地方から306件、関東地方から774件、中部地方から2098件、近畿地方から2621件、中国地方から444件、四国地方から193件、九州・沖縄地方から718件の寄付がありました。北海道から九州・沖縄まで全国各地から満遍なく寄付をいただいています。

返礼品は、八千代町産のものを基本として、約300品目を用意しており、特に米を返礼品として希望する申し込みが多くなっています。

町長 ふるさと納税の強化を公約とし、新たにふるさと納税課を設け取り組んできました。先進自治体のノウハウを吸収しながら、今後寄付額をさらに増やしていきたいと考えています。



ふるさと納税

返礼品で町の魅力もPR

菅谷地内の八千代工業団地には自動車部品等製造業者や食品製造業者が進出していますが、今後それら全ての会社が操業を開始したとき、付近の道路の渋滞が懸念されます。町の対策をお聞きします。

産業建設部長 渋滞の緩和策として、信号機の停止時間の調整や時差式信号機への変更のほか、交差点の改良工事、道路の4車線化が考えられます。

企画財政部長 食品製造業者に聞き取りをしたところ、操業開始時は順次生産ライン稼働させていくことや二交代制などにより、極端に通勤が集中する見込みではないことを確認しています。

農業の成長産業化について



安田 忠司 議員

農業の担い手不足が全国的に顕著であり、国、県ともに手を尽くしていますが歯止めがかからない状況です。今後、農家の経営基盤を強化するためには、農業生産基盤の整備や、農地の集積・集約化が必須であると考えます。茨城県知事も、農林水産業を若者に魅力のある産業とするため、農業分野では農地の集積・集約化、ブランド強化、販路拡大など、所得向上を目指し、担い手を確保していく方針を打ち出しています。農業の生産額向上に向けた当町の取り組みを伺います。

産業建設部長 農業の機械化、大規模化が進展することにより、農地の集積、集約化が求められています。茨城県が行う「農地中間管理事業」

を活用し、農地の集積、集約化を推進しています。

また、持続的な振興に向けて、ICTを活用した「スマート農業」や、新たな品目導入に向けた「高収益作物導入支援事業」など、農業者への支援を行っています。

町長 茨城県と連携してブドウなどの新規作物の普及促進を図るなど、農業が魅力のある職業であると認識されるよう取り組んでいきます。

消費者の低価格志向やコロナ禍により農産物の販売に多大な影響が生じています。海外への輸出など、販路を拡大するための取り組みについて伺います。

副町長 農産物の海外への輸出はメロン、米、お茶などの成功事例もありますが、鮮度の管理や輸送コストなどの課題があります。

販売を有利に、安定的に行うためには、消費者のニーズを把握して求められるものを生産することや、地域に合った品種を導入して売り込むことなどが重要です。生産者の経営安定につながるよう、支援を行っています。



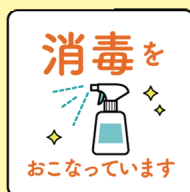
普及を図っているブドウとサツマイモ



新型コロナウイルスの対策を取りながら議会を行っています

町議会では、執行機関である町長から提案される条例や予算など議案の審議を中断させることがないように、新型コロナウイルスの感染拡大を防止しながら、議会運営に取り組んでいます。

- ・議会出席者は、マスクの着用、手指の消毒、咳エチケットの励行、健康状態のチェックを行っています。
- ・一般質問では、質問の発言事項を搾るとともに、簡潔な質問と簡潔な答弁に心がけ、時間の短縮に努めています。
- ・議会を傍聴する場合には、議会出席者と同様に取り組んでいただき、座席間隔の確保にご協力をお願いします。



議会を傍聴しませんか？

より多くの皆さんに議会を身近に感じていただくために、議会傍聴や施設見学を受け付けています。各種団体や学校の社会見学にお取り入れください。

次の定例会は3月に行います。詳しい日程は議会ホームページをご覧ください。



議場は役場4階にあります

TEL 0296-481111
(内線4110)

町制施行 50 周年記念事業 八千代町こども議会



令和3年11月6日、町制施行50周年記念事業として、八千代町こども議会が開催されました。

この議会では、町立中学校2校から2年生18名がこども議員として出席し、町長など町執行部に対する一般質問を行いました。また、議事の進行もこども議員の中から選出された議長2名が行いました。こども議員全員が、質問を通じて町政に関する疑問や要望を発表し、それに対して町長と教育長が真摯に答弁を行いました。

〇こども議員と質問事項

- ・ 議席番号1番
中山春香さん(二中)
- 「小・中学校の統合について」
- ・ 議席番号2番
飯村美百合さん(東中)
- 「八千代町の若者増加について」
- ・ 議席番号3番
高崎元さん(二中)
- 「通学路の街路灯増設について」
- ・ 議席番号4番
稲見哲也さん(東中)
- 「八千代町総合体育館の使用について」
- ・ 議席番号5番
宮本素直さん(一中)
- 「八千代町のSDGsの取り組みについて」
- ・ 議席番号6番
生沼流星さん(東中)
- 「事故に関する注意喚起について」
- ・ 議席番号7番
秋葉萌花さん(一中)
- 「公共交通機関が少ないことについて」
- ・ 議席番号8番
島田愛音さん(東中)
- 「八千代町の農業継承者を増やすために」
- ・ 議席番号9番
飯山朱莉さん(一中)
- 「八千代町のPR方法について」
- ・ 議席番号10番
エルファニ エレナさん(東中)
- 「八千代町の道路の整備について」
- ・ 議席番号11番
杉本路人さん(二中)
- 「海洋センターの利用について」
- ・ 議席番号12番(議長)
太田美咲さん(東中)
- 「八千代町の歩道について」
- ・ 議席番号13番
坂入汐さん(一中)
- 「パトロールの強化について」
- ・ 議席番号14番
小口紗和さん(東中)
- 「八千代町の魅力アップイベントについて」
- ・ 議席番号15番
染野結生さん(二中)
- 「ごみの収集方法について」
- ・ 議席番号16番
砂見爽人さん(東中)
- 「町施設のネット予約について」
- ・ 議席番号17番(議長)
古澤藍斗さん(二中)
- 「町にスポーツができる施設が少ないことについて」
- ・ 議席番号18番
廣瀬健汰さん(東中)
- 「道路に残された土について」